

2020年8月13日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

-UAEと和平合意-

[YouTube:2020年8月13日中東時事アップデート](#)

[アミール] 皆さん、今日は、いつもとは違う場所からです。いくつかのミーティングを終えたところです。今回は、アラブ首長国連邦（UAE）とイスラエルの和平協定の基本に触れたいと思います。つい先ほど、ホワイトハウスで、トランプ大統領が発表しました。そしてもちろん、今、私が皆さんにお話している間にも、イスラエルの首相が、この特別な宣言を、ヘブライ語でイスラエル国民全員に発表。そのニュースを伝えています。

では、数年前にさかのぼってお話ししましょう。事実、イスラエルとアラブ首長国連邦の関係は何年も前に始まっています。トランプ大統領が当選してから、この3年半の間に、これらの関係が、“アップグレード”されています。そして、関係がアップグレードされた理由は、オバマのイラン核協議のためです。イラン協定は、サウジアラビアにとって直接の脅威で、明らかに、その隣のアラブ首長国連邦にとっても、そうです。したがって、皆さん、イスラエルとサウジアラビアの関係、それから、イスラエルとアラブ首長国連邦の関係は、どんどん緊密になっていきました。実際、コロナウイルス危機の間、イスラエルとアラブ首長国連邦は、互いに助け合ってきました。これほどまでにイスラエルが他の国に対して援助したり、他の国がイスラエルを援助した事はないと思います。この2国間で、興味深い、“覆面”飛行が見られたほどです。3月に、イスラエルがどうしても必要だった人工呼吸器は、実際、UAEから手配、もしくは、UAEが何らかの形で関わって、手配しています。そのお返しに、イスラエルはUAEに重要なちようほう諜報だけでなく、防衛システムも、また、それ以上に、農業や医療、サイバーセキュリティ等々、多くの技術を供給しました。さて、私が言いたいのは、イスラエルとUAEの間には、すでに現在進行形の関係がありました。それが、今日起こったのは、単に、トランプ大統領がカミングアウトして、この関係を明らかにしたのです。

25年以上ぶりに、皆さん、イスラエルはアラブのイスラム教国家と和平協定に署名しようとしています。イスラエルがアラブ諸国と本格的な和平協定を結んだのは、わずか3ヶ国目です。理解してください。1979年にエジプトと1994年にはヨルダンです。そして今度はUAEと調印します。間違ってはいけません。トランプ大統領は時間を無駄にせず、彼は平和協定の調印を、11月の選挙前にホワイトハウスの庭で行うことを望んでいます。ということは、ほんの数週間以内に、ネタニヤフ首相はUAE7首長国の首都国であるアブダビの指導者シェイク・ザイドと合流し、それぞれの側が、どうやって自国民に売り込むかを検討しなければなりません。少なくとも、かつては、パレスチナの大義名分の揺るぎない支持者であったアラブ・イスラム国家が、何の説明もなしに、一夜にして自分たちの立場を変える事は期待出来ません。もしくは、少なくともパレスチナ人のために何らかの大きな貢献をしているかのように見せなければなりません。そこで、首長国連邦のリーダーが言おうとしている事を見てください。彼らはこう言っています。「イスラエルは、併合を遅らせることを引き換えに、我々が和平に署名する事を望んでいる。」言い換えれば、「我々は、イスラエルがヨルダン溪谷とヨルダン川西岸の入植地を併合するのを止めた。」皆さん、私がここで言いたいのは、大きく譲歩をしたのは、イスラエルの方であるように見えるのです。イスラエルの首相は、実際にこう言います。「皆さん、我々は併合を放棄しているわけではない。現時点で、アメリカは、我々がそれを実行するのを認められない事を、我々は理解している。従って、我々はトランプ大統領が再選され、前進出来るようになることを祈っている。」つまり、「確かに併合は先送りになるが、これが議論から外れ、却下されたワケではない。それはまだ有効だ。我々は70年以上、2000年以上これを待ったのだから、あと数ヶ月ぐらい待てる。」それが、ネタニヤフ首相の発言です。彼が言います。「いいですか、皆さん、それは起こります。ただ、今、イスラエルの利益のためには、米大統領選の年に、彼に恥をかかせてはいけません。それに、明らかに、このチャンスに飛び乗って、新たにアラブの国との歴史的な和平協定を結ぶ事は、イスラエルの利益になる。」

パレスチナ、イラン、そして中東の反イスラエルの要素は、今、それを受け入れることができません。これは、彼らには耐えられません。実際、その一方で、エジプトのアッ＝シーシ大統領、アブドルファッターフ・アッ＝シーシーが、この和平交渉を祝福しました。今、私たちが見ているのは、私たちの周りの人々にとっては利益になるが、パレスチナ人、イラン、テロリスト組織にとっては不利益な和平交渉です。

さて、アメリカの視点から見てみましょう。トランプ大統領は選挙に向かっています。これまでのところ彼は、和平に関しては、北朝鮮ともベネズエラとも、もちろん中東でも、一切、もたらず事が出来ていません。だから、トランプ大統領にとって、選挙に際して、ある種の平和の伝説をもたらすことが重要だったので。理解してください。どの大統領も、戦争よりも平和をもたらしたいのです。そこでネタニヤフ首相は悟ったのです。トランプ大統領にとっての最善は長期的に見れば、我々にとっても最善の利益となる。これまでのところ、トランプ大統領は、あらゆる国際的意見に逆らって、物事を進める態度を見せて来ました。エルサレムを支援して、大使館を移動させ、ゴラン高原をイスラエル領であると宣言し、そして実際に、彼はまた、ヨルダン川西岸のイスラエルの入植地は合法であり、違法ではないと言いました。ですから、トランプ大統領は、すでにイスラエルとの友好関係、イスラエルへの支持を証明しています。今の時点で、彼は誰かとの歴史的な和平協定のようなものを交渉台に持ってくる必要があります。UAEは、どちらにしても、すでにイスラエルとの素晴らしい交友関係を持っていて、ただ、それが隠されていただけで、そこへトランプ大統領が言ったのです。「みんな、それを告白してはどうだ？表に出してはどうだい？その見返りに、あなた方は、アラブ世界に『我々が、なんとか併合を押し留めた』と言うのだ。」

「併合を押し留めた」の意味がわかりますか？ご説明しましょう。併合は、もう決定事項だという事です。彼らは、ただ、それをなんとか押し留めただけです。つまり、これは取り消しの話ではなく、「もし、そんなことをしたら、平和協定を取り消す」というのでもありません。ネタニヤフ首相はそれを行い、トランプ大統領がすでに承認している事を彼らは知っています。彼らに今与えられたのは、11月のアメリカの選挙後までそれを延ばす事だけです。誰にも圧力がかからないように。「中東の各国間の関係を悪化させる」という圧力鍋。説明させてください。皆さん。11月3日の後、トランプ大統領が再選されれば、誰かに何かを証明しなければならぬという圧力は、彼にはもうありません。もう再選される必要はありませんから。これで終わりです。今回、2期目ですから。そして2期目には、今の時点で「YES」と言えないことにも「YES」と言えるようになります。それでアメリカは、今、これを歴史的な動きとして示し、それを、すでに発表しています。結局のところ、イスラエルと完全な和平協定を結んだアラブ諸国は、わずか3カ国、エジプトとヨルダンに次いで、3番目です。前回、周辺のアラブの国と和平協定を結んでから25年以上経ちました。だから、その大きさを理解する必要があります。ところで、これはサウジアラビアの祝福がなければ出来なかった事で、次は、サウジアラビアさえ加わるかも知れません。私が言いたいのは、現時点では、これが全ての立場の全利益に貢献します。さて、私が言えるのは、もしネタニヤフが今の時点で選挙を控えていたら、彼は、この考えを好まなかったでしょう。彼の拠点である右派層が併合の延期を喜びませんから。イスラエルの右派の拠点は、すでに併合が実現している事を望んでいます。ただ、イスラエルには当面選挙はなく、ネタニヤフは、どちらにしても、それほど強くないので、今のところ、選挙は行わないでしょう。次は首相になれないかも知れませんから。ですから、選挙は行わないので、これは彼の利益になります。アメリカの大統領にとっては選挙がありますから、これは利益になるのです。そして、これはUAEの利益にもなります。彼らはアラブ界に言えますから。「併合が延期されたのは、我々のお陰だ。」ほら、今日は良い日ですよ。戦争よりも平和の方が、いいに決まっています。これは平和です。

さて、聖書の観点から見ていきましょう。多くのクリスチャンが、世界の指導者がイスラエルとの和平協定を結んだと聞いたたびに、「これは反キリストだ！」と言いますが、では、聖書に戻りましょう。聖書は、非常に明確にしています。エルサレムと神殿を破壊した、その同じ指導者が同じ地域から出て来ます。（ダニエル書9章）だから、それは間違いなくアメリカ大統領ではありません。また、ここまで話して来た内容で、現在どの時点にあるのかを理解すれば、聖書預言では、エゼキエルの戦争が、すぐそこまで来ていることがわかります。そして、行間を注意深く読み、エゼキエルの記述のすべてを読めば、シェバとデダンが、イスラエルへの侵入に反対することもわかります。シェバとデダンとは、サウジと、実際、その周辺全て

で、つまりUAEを含む可能性があります。ところで、私が思うに、UAEがきっかけとなって、後にサウジアラビアも参加するかも知れません。彼らは今、様子を見ています。つまりポイントは、世界のその部分が実際にイスラエルの味方になって、イスラエルと平和になるというのは超聖書的なことです。しかも、すでに非公式に平和があるのです。それが公式になって、その周辺全員の利益に役立っています。これは、あの和平協定ではありません。もう一回言います。これは、反キリストの和平取引ではありません。なぜでしょうか。反キリストの和平交渉は、戦争の後にもたらされるはずで、反キリストの和平取引には、第三神殿の建設も含まれています。そして、反キリストの和平取引は、反キリスト自身によってもたらされ、彼は、明らかに私たちがここを出てから登場します。だから結論を急いで、過度に緊張したり興奮してはいけません。これは、そうではありません。これは、ダニエル9章の同じ指導者が確認する和平協定ではありません。私たちが今見ているのは、エゼキエルの預言に完全に一致するものです。だから、私は超ワクワクしています！私には、指導者の一人一人がこれに「YES」と言った理由がよく分かります。近日中に、この結果を見ることになるでしょう。一つ確かなことは、イランは超激怒しています。パレスチナ人は、もっと激怒していて、もちろんファタハやハマス、イスラム聖戦主義者、ヒズボラは超激怒しています。この人たちが、激怒しているのは、他のアラブ世界との関係正常化に関して、パレスチナは、常にイスラエルを人質にしていたから。パレスチナは、いつも言っていたのです。「我々との間に平和を得るまでは、どのアラブ国とも、正常な関係を結ぶことはできない！」それが、見てください。私たちは今、パレスチナと何かをする前に和平協定を結んでいるのです。だから、パレスチナにとっては大打撃です。これは、西岸のどの都市からも撤退することなく、領土も何も手放す事なく、和平交渉を成立させた、イスラエル首相の大勝利です。我々が代償として払ったのは、7月に予定していたことを12月に予定に延期しただけです。しかし我々は、何からも、どの領土からも撤退していないし、我々が支配している都市からも撤退していません。エルサレムは交渉に上がっていません。パレスチナ難民は交渉にはなく、国境も交渉上にはなく、何も交渉にありません。UAEのような重要なアラブ国との公式な和平協定に対して、文字通り、これ以上安い代償はありません。ですから、理解して欲しいのです。この和平合意は、まさに歴史的で、これは、エゼキエルのシナリオと見事に一致しています。これは、反キリストがイスラエルと平和を結ぶこととは全く関係がありません。むしろ、これは近く起こるエゼキエル戦争と、その侵略の間の政治的な地図を告げているに他なりません。その時、シェバとデガンは、略奪と戦利品を奪うために侵略する全ての国を批判します。それを理解する必要があります。トルコは今、超怒っています。石油もガスも見つからないからです。レバノンも、石油やガスを見つけていません。シリアは石油やガスを見つけていません。そしてイスラエルは石油やガスを見つけ、キプロスやギリシャと同盟を結んでいます。そして、ほら、彼らは皆、私たちに対して激怒しています。まさにこれが、おそらく鉤になるのでしょうか。しかし、すでに、ロシアがそれにかかって、その地域まで来ていて、他の国々もそこまで来ています。しかし恐らくこれが、彼らにとって必要な戦利品となり、彼らは戦争を始めるのでしょうか。ですから、むしろ、ここで見ているのは、ダニエル書9章ではなく、ここで見ているのは、エゼキエル書38章です。

なぜ、それが我々にとって、そんなに重要なのか？なぜなら、教会として私たちは、反キリストがイスラエルとの和平協定に署名する前に、ここを出て行くと私は信じていますから。エゼキエルの戦争は、その最中、もしくは戦争の直後のどちらかで、私たちはここを出ていくと信じています。しかし間違いなく、我々は、反キリストが課す和平交渉を見ることはありません。

という事で、この平和が何を意味するのかを、明確にしておこうと思いました。これから、その内容等、詳細が分かります。明らかに、今すでに我々と彼らの間にあるものが、全て公式に公開されるでしょう。いずれは大使館も開くでしょうし、ドバイや、アブダビへの飛行も可能になるでしょう。皆さん、それは素晴らしいことですよ！すごいです！繰り返しますが、私は、それ以上に、もうすぐ教会が携挙される事にワクワクしています。私にとって、それはまさに「祝福された希望」であり、最も重要で、私たち全員が楽しみにすべきものです。

という事で、説明したいと思いました。選挙まで、文字通り残り3ヶ月を切ったアメリカ大統領にとって、それは何を意味するのか。イスラエルの首相にとって何を意味するのか。アラブの国にとって何を意味するのか。だから、これらは良いニュースです。もう一度言いますが、パニックにならないでください。それ

は、反キリストの和平交渉ではありません。そして、皆さん、ご理解ください。現時点で、これは周囲の者全員の利益になり、それが、併合の実施が遅らされた理由です。ややこしい言葉が多いですが。

以上です、皆さん。そういうことです。月曜のアップデートで、中東情勢の情報を包括的^{ほうかつ}にお届けします。必要ならば、もっと早い段階でお伝えします。とにかく、皆さん、理解してください。この和平協定が何なのか、歴史的な日、素晴らしく、驚くべき機会。これまでにイスラエルと和平協定を結んだ第三のアラブ諸国です。歴史的瞬間以外、なにもものでもありません。私たちは、そのために領土を撤退する必要もありませんでした。エジプトの時、我々はシナイから撤退しました。ヨルダンの時、私たちは、彼らに土地を与えました。ここでは何もありません。我々は、ある事を数ヶ月後に遅らせる約束をしました。少なくとも今は、アメリカの選挙前に併合は行われなことを、誰もが理解しています。そしてこれは、トランプ大統領が再選されるよう、我々が祈るべき、もう一つの理由です。

明日は、ビホールド・イスラエルのページで元駐米イスラエル大使ヨラム・エッティンガー氏との特別インタビューを放送します。彼は、父ブッシュ時代、アメリカ議会に所属していた、ワシントンの元駐米イスラエル大使館で、大使を務めていました。この、非常に聡明な人の話を、ぜひお聞きください。イスラエルにとって、いかにアメリカが重要かではなく、いかにイスラエルが、アメリカにとって重要かについて語ります。驚愕のインタビューです。彼の話しに、画面に釘付けになること間違いなしです。このインタビューの情報は、Facebookページやウェブサイト、ソーシャルメディアでご覧いただけます。

皆さん、特別アップデートをご覧くださいありがとうございます。混乱を避ける為、できるだけ多くの人にシェアしてください。そしてもちろん、主の元に集められる為、喜んで準備ができますように。

ありがとうございました。神の祝福がありますように！

お父様、あなたのみことばに感謝します。私たちを取り囲むものに感謝します。すべてが、あなたの聖書に完全に一致していることを感謝します。そして今、私たちは、もう一度言います。あなたが私たちを迎えに来られるのを、心待ちにしています。あなたに感謝し、あなたを祝福します。

イエシュアの御名によって。
アーメン。

ありがとうございました。

God bless you!

イスラエル、ガリラヤより、シャローム。
さようなら。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>
ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.08.21 (Fri)